

令和4年度会計 決算を報告します

問 行政課財政係 ☎95-9869

9月市議会で認定された一般会計、4つの特別会計、3つの企業会計について、大切なお金の使い道を報告します（金額はすべて1万円未満四捨五入／端数処理の関係で合計が一致しない場合あり）。

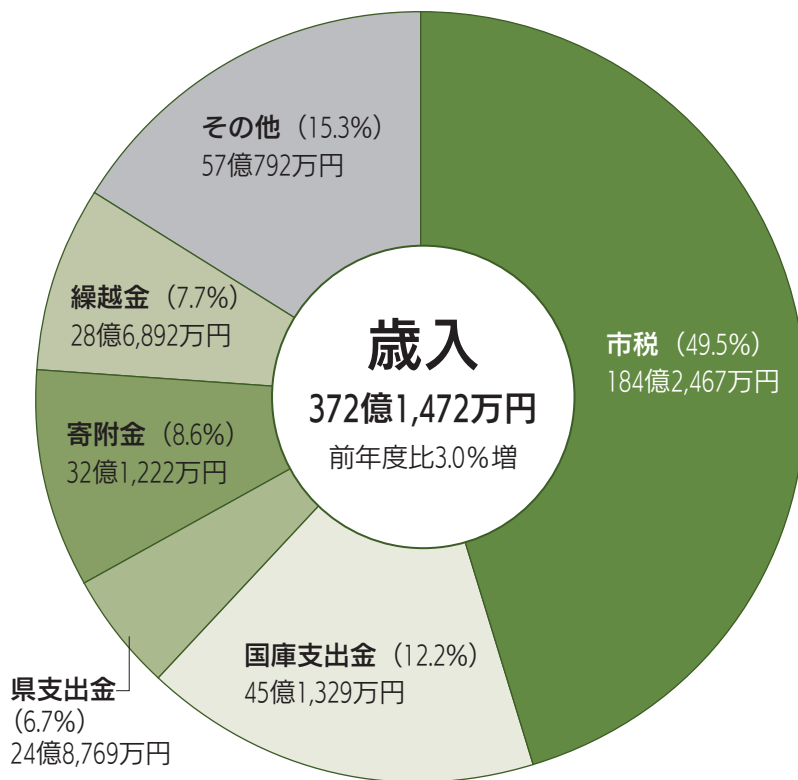
歳入決算額は656億5,068万円余で、前年度に比べ2.2%の増、歳出決算額は646億4,758万円で前年度に比べ3.6%の増となりました。

一般会計歳入

歳入の49.5%を市税が占めています。市税の中では、固定資産税が50.4%、市民税が39.4%で、全体の89.8%を占めています。法人市民税は24億3,690万円（対前年度比156.9%増）となり、増収の要因は、一部の臨海部大手企業による円安効果を含めた業績回復などによるものです。

寄附金は32億1,222万円（対前年度比3.2%減）で、主にふるさと応援寄附金として32億683万円を受け入れたことによるものです。

また、歳入財源として、地方債（借金）を9億9,600万円発行しました。



市税の内訳

項目	決算額
市民税	72億5,161万円
個人	48億1,471万円
法人	24億3,690万円
固定資産税	92億8,533万円
軽自動車税	2億1,934万円
市たばこ税	5億447万円
都市計画税	11億6,392万円

都市計画税の充当状況

項目	事業費	都市計画税充当金額
街路事業	3億5,262万円	1,763万円
下水道事業	4億1,795万円	2億5,004万円
地方債償還	14億9,728万円	8億9,625万円
合計	22億6,785万円	11億6,392万円

特別会計・企業会計決算

特別会計決算

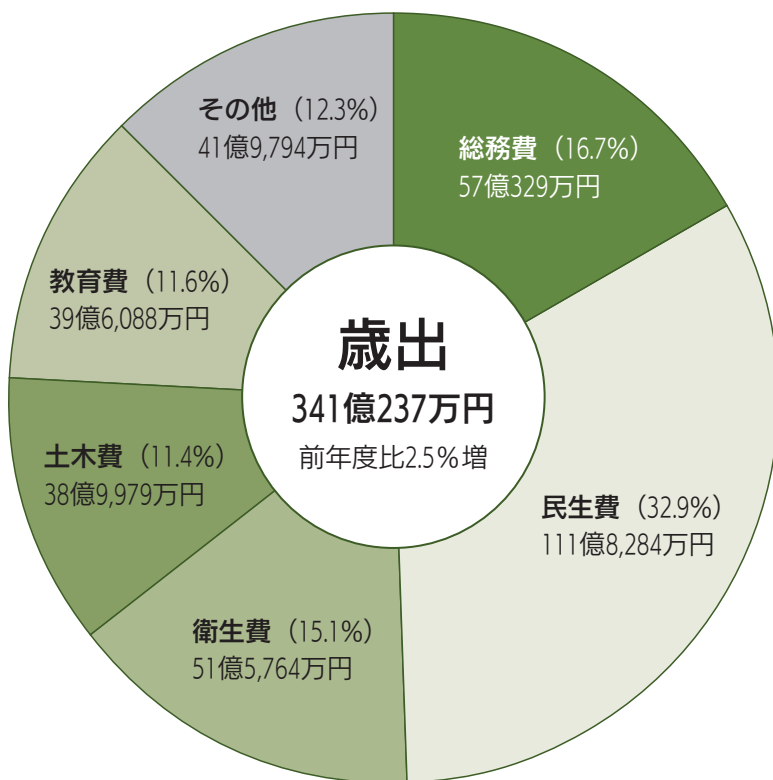
特別会計名	歳入	歳出
国民健康保険	63億3,685万円	62億5,190万円
訪問看護事業	1億2,999万円	4,093万円
介護保険	55億376万円	52億1,359万円
後期高齢者医療保険	10億1,000万円	10億688万円
合計	129億8,059万円	125億1,330万円

企業会計決算

企業会計名	収入	支出
水道事業	収益的収支 16億334万円 資本的収支 3億526万円	14億675万円 14億5,988万円
下水道事業	収益的収支 26億8,353万円 資本的収支 19億83万円	24億9,889万円 34億1,756万円
病院事業	収益的収支 73億4,255万円 資本的収支 16億1,987万円	78億6,273万円 13億8,611万円
合計	154億5,538万円	180億3,191万円

一般会計歳出

子育て支援や高齢者・障害者福祉・医療などにかかる民生費は、対前年度比4億6,718万円（4.0%）減、道路や公園などの整備にかかる土木費は、対前年度比2,159万円（0.6%）増となりました。また、教育費は対前年度比4億3,238万円（12.3%）増となりました。



総務費

ふるさと応援寄附金事業では、継続して新規事業者や返礼品の掘り起こしを進めました。2022年4月から、情報提供及び相談を多言語で行う一元的相談窓口を市役所1階に開設しました。

民生費

住民税非課税世帯や子育て世帯などに臨時特別給付金を支給したほか、生活困窮者への自立の促進や私立保育園などへの補助を行いました。

衛生費

円滑な新型コロナウイルスワクチン接種を実施するための体制を確保しました。また、スマートハウス設備設置費や次世代自動車購入費への補助を行いました。

土木費

道路や公園などの整備事業や、公園施設長寿命化対策事業、住宅耐震化等促進事業、空家等対策事業、市営住宅長寿命化事業などを実施しました。

教育費

美術館収蔵庫などの増設・改修工事や芸術文化ホールのトイレ改修工事などを行いました。また、ビーチバレーなどのビーチスポーツの実施やスケートボード大会への補助を行いました。

その他

会議資料のペーパーレス化など、円滑な議会活動を推進するためにICT機器を導入しました。また、農業後継者などの育成や農産物のブランド化を推進したほか、碧南3大花まつりを開催しました。

健全化判断比率・資金不足比率

健全化判断比率

指標	碧南市	早期健全化基準
実質赤字比率	—	12.6%
連結実質赤字比率	—	17.6%
実質公債費比率	2.7%	25.0%
将来負担比率	2.2%	350.0%

※表中の「—」は、実質的な赤字が発生していないことを示しています。

資金不足比率

会計名	碧南市	経営健全化基準
水道事業会計	—	20.0%
下水道事業会計	—	
病院事業会計	—	

※表中の「—」は、資金不足が発生していないことを示しています。

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、令和4年度決算の健全化判断比率を示す4指標と公営企業の資金不足比率を公表します。これらの比率は、赤字額や借入金の額などをもとに、自治体の財政の健全化度を数値として表したものです。令和4年度決算は、いずれの指標でも基準を下回り、財政状況は健全であると言えます。

【指標の説明】

実質赤字比率	一般会計などの赤字の割合を示す指標
連結実質赤字比率	全ての会計の赤字の割合を示す指標
実質公債費比率	一般会計などが負担する借入金の返済額などの割合を示す指標（3か年平均）
将来負担比率	一般会計などが将来負担すべき借入金の残高などの割合を示す指標
資金不足比率	企業ごとの資金不足（赤字）の割合